

2018/10/14(日)9:30-16:50(受付開始 9:00) 定員:30 名

がんプロフェッショナル研修会

胃がん化学療法患者に対するファーマシューティカルケア

〔講演〕／〔症例検討〕／〔SGD〕症例スモールグループディスカッション

- * 終了後、症例サマリーを作成、期日までに提出して頂きます。
- * プログラム全てを受講し、課題を提出した受講者にのみ単位認定いたします。
- ※下記 3 種類の単位を取得できます(後日郵送いたします)
- ・慶應義塾大学薬学部生涯研修認定単位 4 単位
- ・日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師講習(研修)認定単位 3 単位
- ・日本医療薬学会認定 がん専門薬剤師講習会・教育セミナー認定単位 2 単位

講座情報

「胃がん治療において薬剤師が知っておくべき知識(術式から抗がん薬治療まで)」

近年、胃がんの治療法はエビデンスが整備され、さらに新規薬剤の登場で大きな変化を遂げている。術後補助化学療法では、S-1 単剤療法に加え、フツ化ピリミジン系薬剤にオキサリプラチンを併用するなどの選択肢が増えた。また、局所進行・再発難治の胃がんに対する化学療法も条件付きで認められる選択肢は多数あるものの、一次治療から三次治療までがガイドラインに示されている。近年では免疫チェックポイント阻害薬(ニボルマブ)も保険適用となったため、薬剤師の多岐にわたる関わりが求められている。本講演では、2018 年 1 月に刊行された「胃がん治療ガイドライン」をもとに、手術療法、化学療法および支持療法について概説する。

「地域中核病院側から地域連携における取り組み」

近年、内服抗がん剤の種類増加や支持療法の進歩、患者の QOL 維持の観点などから、外来でがん治療を行うことが多い。そのため、薬業連携の重要性は増している。その中で、外来がん治療認定薬剤師(以下、APACC)取得者数は年々増加しているが、保険薬局の APACC 取得者はまだ少ない。

上尾中央総合病院(以下、当院)は、病床数 733 床の埼玉県県央の中核病院である。当院では、2015 年より外来がん治療認定薬剤師取得を目的として、新スタイルの薬業連携を開始した。昨年の研修会では、2016 年度までの取り組みを報告した。

今回は、2017 年度の取り組みと今後の展望を紹介し、より良い薬業連携について共に考えたい。

「保険調剤薬局で外来がん治療認定薬剤師を取得した後の取り組み」

現在、外来において内服抗がん剤を含む化学療法が広く行われている。また、病院で注射抗がん剤を投与した際の支持療法薬を、院外調剤するケースも多い。そして、外来化学療法中の副作用の多くは、医療機関ではなく、主に自宅で出現する。そのため、薬剤の適正使用や副作用の予防、副作用の重篤化回避には、保険薬局でのきめ細やかな指導や、保険薬局と病院との密な連携が重要である。

あおば薬局では、より一層のがん治療への貢献を目指し、病院と連携しながら外来がん治療認定薬剤師を 2 名が取得した。

今回は、保険薬局薬剤師として、外来がん治療認定薬剤師を取得する過程及び、取得後の取り組みを紹介する。

「〔症例検討〕 胃がん患者に対する副作用評価と治療マネージメント～副作用評価と治療マネージメントを学ぶ～」

本研修会は、「胃がん化学療法患者に対するファーマシューティカルケア」と題しており、手術療法からがん薬物療法に至るまで、胃がん治療において薬剤師が知っておくべき知識の習得を主な目的と考えております。座学だけでなく、症例を基にし

たスモールグループディスカッションを交えた演習を加える予定であり、学びが深まるものと考えております。また、本研修会の対象を“これからがん治療における知識や理解を深めたい方”と位置付けており、年齢や勤務施設（病院・保険調剤薬局）の別なく参加が可能となっております。胃がんの薬物治療は経口抗がん薬も汎用されますので、病院と保険調剤薬局との連携に関する事例なども含めて皆様とともに学びを深められればと考えております。

講演者情報

川上 和宜

公益財団法人がん研究会有明病院医療安全管理部/薬剤部 主任

プロフィール

<学歴>

1998 年 昭和薬科大学薬学部生物薬学科 卒業

2000 年 昭和薬科大学大学院修士課程薬学研究科医療薬学専攻 修了

2013 年 博士(薬学)

<職歴>

2000 年 財団法人癌研究会付属病院薬剤部 入職

2007 年 財団法人癌研有明病院薬剤部病棟活動担当チーフ

2011 年 公益財団法人がん研究会がん研有明病院 薬剤部主任(研修担当)

2015 年 公益財団法人がん研究会がん研有明病院 薬剤部調剤室長代理

2016 年 公益財団法人がん研究会がん研有明病院 医療安全管理部/薬剤部
現在に至る

<認定>

日本医療薬学会認定がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、認定薬剤師、指導薬剤師

<所属学会>

日本医療薬学会、日本臨床腫瘍学会、日本緩和医療薬学会、日本薬学会

主要著書

今日の治療薬 2018 (南江堂)

がん化学療法レジメン管理マニュアル (医学書院)

がん薬物療法副作用管理マニュアル (医学書院)

「胃がん治療において薬剤師が知っておくべき知識(術式から抗がん薬治療まで)」

大里 洋一

独立行政法人国立病院機構東京医療センター薬剤部

プロフィール

2004 年東京薬科大学薬学部卒業後、都内私立大学病院薬剤部に入職。在籍時、2008 年に米国 M.D. Anderson Cancer Center にて 5 週間のチーム医療などを学ぶ研修のため留学。その後、Japan TeamOncology Program (J-TOP) のチュータ

一となる。2014年同大学病院社会人大学院卒業後退職。2014年に現職である独立行政法人国立病院機構東京医療センター薬剤部に入職し現在に至る。

所属学会は日本医療薬学会、日本病院薬剤師会、日本臨床腫瘍薬学会、日本臨床腫瘍学会。

特に日本臨床腫瘍薬学会では会員委員会に所属している。

また、米国留学中に同施設の Faculty Development で受講したコミュニケーションの心理学的支援ツールである Myers Briggs Type Indicator (MBTI®) の資格を帰国後取得し、現在 MBTI 認定ユーザーとしても活動中。

参考サイト

- ・NCCN Guide line “Gastric Cancer”
- ・国立がん研究センター がん情報サービス
- ・日本癌治療学会 がん診療ガイドライン
- ・日本胃癌学会 ホームページ
- ・消化器がん治療の広場

「地域中核病院側から地域連携における取り組み」

国吉 央城

医療法人社団愛友会上尾中央総合病院薬剤部 主任

プロフィール

＜学歴・職歴＞

2007年 明治薬科大学薬学部薬剤学科 卒業

2007年 上尾中央総合病院薬剤部 入職

現在に至る

＜資格＞

日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師、日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師、埼玉県病院薬剤師会 生涯研修認定薬剤師

＜所属学会＞

日本病院薬剤師会、日本医療薬学会、日本臨床腫瘍学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍薬学会

「保険調剤薬局で外来がん治療認定薬剤師を取得した後の取り組み」

水井 亮

株式会社白岡薬局 あおば薬局 主任

プロフィール

＜学歴・職歴＞

2006年 昭和薬科大学薬学部生物薬学科 卒業

2009年 株式会社エープランかしわざ薬局 入職

2014年 株式会社白岡薬局あおば薬局へ異動

現在に至る

<資格>

日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師、日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師

<所属学会>

日本臨床腫瘍薬学会

「〔症例検討〕胃がん患者に対する副作用評価と治療マネージメント～副作用評価と治療マネージメントを学ぶ～」

大橋 養賢

独立行政法人国立病院機構東京医療センター薬剤部 がん薬物療法研修マネージャー

プロフィール

<学歴>

2001 年 3 月 東邦大学薬学部衛生薬学科 卒業

2003 年 3 月 富山医科薬科大学大学院薬学研究科博士前期課程修了

<職歴>

2003 年 4 月～ 静岡県立静岡がんセンター 薬剤部

2012 年 7 月～ 国立病院機構東京医療センター 薬剤科

2015 年 4 月～ 国立病院機構東京医療センター 薬剤部(名称改変)

<所属学会>

日本臨床腫瘍学会、日本肺癌学会、日本造血細胞移植学会、日本臨床薬理学会、日本医療薬学会、日本医薬品情報学会、日本臨床腫瘍薬学会(JASPO)、日本がん薬剤学会(JSOPP)

<認定資格>

日本医療薬学会認定 がん指導薬剤師、日本医療薬学会認定 がん専門薬剤師、日本病院薬剤師会認定 がん薬物療法認定薬剤師

主要著書

- ・胃癌治療ガイドライン 医師用 2018 年 1 月改訂 第 5 版 金原出版
- ・新臨床腫瘍学 改訂第 4 版 南江堂
- ・がん診療レジデントマニュアル第 7 版 医学書院
- ・改訂第 5 版がん化学療法レジメンハンドブック 羊土社
- ・がん薬物療法副作用管理マニュアル 医学書院

参考サイト

国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」

<https://www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/info/ganjoho/index.html>

日本胃癌学会 <http://www.jgca.jp/index.html>

がん情報サイト PDQ®日本語版 Cancer Information Japan <http://cancerinfo.tri-kobe.org/>

日本臨床腫瘍学会 <http://www.jsmo.or.jp/>

日本臨床腫瘍薬学会 <https://jaspo-oncology.org/>



定員

30 名